

Welltech.MURASAKI

希望する人材・向いている人・向いていない人

有限会社ウェルテックむらさき

2023.12作成

こんな方を希望します

□ 自分の希望を言葉に出して言える人

日本人の特徴なのか？気持ちを発することなく察してもらうことに慣れていませんか？
希望を発信することは悪いことではありません。意思表示と言う点で分かりやすく、コミュニケーションとして必要です。
しかし、攻撃的だったり、主観を優先した表現では、円滑な人間関係にはなりません。

□ 自分の弱さ、困難さと向き合える人

誰にでも、触れられたくない過去や、本人の特徴なのか？気持ちを発することなく察してもらうことに慣れていませんか？
『自立』= 支配を受けずに自分の力で物事をやっていく + 自分ではどうしようもないことを他者に助けてと言えること、だと考えます。
弱さゆえに、防衛本能で攻撃的になったり、弱いものを引き合いに優位に立つことがないように、努力できる方が必要です。

□ 向上心がある人

『NO』を前提にしては前に進みません、『YES』にするために、1ミリの努力をしようと考えられる方を必要とします。

□ 車の運転ができる人

納品があります。運転できると助かります。利用者の送迎業務は行っていません。

□ スマートホン、パソコン(Word、Excel)入力できる人

支援の記録、報告書、勤怠管理、もろもろスマートフォンのアプリを活用します。
また、支援ツール作成や請求書等、パソコンを使用すると効率的です。

□ 仕事以外、家族以外で、充実できることがある人

自分を大切に生きて生き生きとしている人は、メリハリをもって仕事に取り組める人と考えています。

□ 笑顔の多い人

『笑う門には福来る』笑顔のある環境を提供するものが、笑顔でいられない状況にあるってあり得るでしょうか？
感謝の気持ちを持って『ありがとう』が言える方は笑顔が多いような気がします。



こんな方が向いています

□ 客観的な人

福祉の仕事で一番難しい点ですが、自分と自分以外の人との価値は同じではありません。
自分の気持ちを持つことは問題ないけれど、その気持ち、感情が支援に必要なのかを判断し、相手の気持ちに寄り添える客観性が必要です。

□ つべこべ言わずに、ちゃっちゃと実行に移す人

仕事なので、主観的な判断よりも客観的にとらえ、取り組める方が向いています。
支援者の気持ちも大切ですが、利用される方のために行うのが支援になります。
優先順位、重要性を判断します。後回し、保留にせず、直ぐに取り組めば、上手くいなくても、またやり直しが可能です。

□ より良く改善しようと一緒に考えようとする人

私たちは、それぞれ特性があって得意不得意があるのが当然です。
完璧ではありません。
しかし、できない前提では行動がとれません。今より1ミリでもよくなる方法を共に考え、進んでいこうと考えていきましょう。

□ 興味を持って取り組める人

得意不得意があるのが当然ですが、好みが先行すること偏ってしまいます。
好みでなくとも、苦手でも、『知ろう』とする姿勢が持てる方が向いています。



こんな方は向いていません

- ✓ 声が小さすぎる人
- ✓ 人のせい、言い訳をする人
- ✓ 人の話を聴かない人
- ✓ 分からないことをそのままにする人
- ✓ アドバイスをもって「すみません、ごめんなさい」と言う人(『ありがとう』が良いと思います)
- ✓ 批判、否定、感情的になる人(冷静に、肯定的に伝えられると良いと思います)
- ✓ マナーやモラルを逸脱する人
- ✓ 改善が無い人
- ✓ 社会性が無い人
- ✓ コミュニケーションをとらない人
- ✓ 言われたことをやらない人